



# グリーン ファクトリー

第85号

2007年  
6月28日(木)

新日本石油精製株式会社 根岸製油所  
〒235-0006 横浜市磯子区鳳町1-1 電話045-757-7111(代)  
<http://www.eneos.co.jp/company/gaiyou/jigyousho/negishi/index.html>

## 製油所見学会を開催しました!

6月16日(土)、環境月間行事の一環として製油所周辺地域の皆様を対象とした製油所見学会を開催いたしました。  
当日は55名の方々に参加頂き、当所の環境保全活動(臭気対策、騒音対策等)や防災活動(地震対策、消防設備等)を説明した後、製油所内の見学を行いました。

当日は皆様より様々なご意見を多数頂戴し、活発な意見交換ができました。感謝申し上げます。  
主な質疑応答をご紹介します。



ご質問・ご意見	回答内容
産業道路～間門交差点付近を散歩すると、タンクと高速道路が接近し、非常に脅威を感じる。タンクを住宅地から離せないか。	間門交差点付近は敷地境界にタンクを配置していますので、万一火災の場合にも住宅地側に火災が影響しないように、水の高さを40mにできる水膜設備を設けています。 タンクの移設に関する将来的な計画は持ち合わせておりません。
製油所から白煙が出ているが、大気汚染は大丈夫か。医学的にも説明できるか。	白煙については、循環水の冷却塔から出る水蒸気であり問題ありません。 なお、横浜市内の大気環境については、20箇所に設置された測定局により連続測定され、年間のデータは横浜市より公開されています。 当所近傍には、間門交差点付近の当所社宅屋上および大里町臨海公園近くにあり、測定結果は環境基準(人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準=行政目標)を下回っております。



ご質問・ご意見	回答内容
原油処理能力がこの数年で減少した理由は何か。	石油全体の需要低下により、原油処理能力を減らしてきています。今後の需要見込みも減少傾向にありますので、さらに減らしていくことも考えられます。
原油タンクのある場所は埋め立てられるまでは海岸であったが、地盤は大丈夫か。	タンクの基礎は、消防法に基づき地盤の沈下防止を実施しています。(地震による液状化は、発生しないことを確認しています。)

## 「夏休み子供見学会」お申込み受付中!

夏休みの思い出づくりに是非! 製油所をご見学ください!

- 開催日 7月20日(金)～8月24日(金) ※平日のみとさせていただきます。
- 対象者 小学生以上 ※見学内容およびガスコンロを使用したろうそく作りの体験学習が含まれているため、小学生以上とさせていただきます。ご兄弟などで小学生未満のお子様のご参加希望がある場合にはご相談ください。
- 見学時間 9時30分～11時30分
- 内容 ①石油についてのお勉強および環境学習 ②ろうそく作り ③製油所見学 ④消防自動車の乗車体験  
(天候により実施できない場合があります)
- お申込み お電話でお申込みください。(※平日の9時～16時の時間帯にお願いします)  
総務グループ TEL045-757-7111 ※10名から55名までお受けいたします。
- その他 ①お申込み日・人数(団体数)等によって他の団体と合同で開催する場合があります。  
②バスによる送迎をいたしますが複数の団体を受け入れる場合など、対応が難しい場合があります。  
③昼食は準備しておりません。

## 8月18日(土)ENEOSサマーフェスティバル開催!

※詳細は次回7月号でご案内いたします!